

第8回年次学術集会プログラム

(会期: 令和4年2月13日)

(オンライン開催)

テーマ

重症化予防のパラダイムシフト

代表理事挨拶

特定健診・保健指導と健康日本21(第2次)

— 特定健診・保健指導のメリットを活かし、健康日本21(第2次)を着実に推進 —

特定健診・保健指導の実施率の向上

データの分析

地域、職場のメリット

- 各地域、各職場特有の健康課題がわかる。
- 予防する対象者や疾患を特定することができる。

個々人のメリット

- 自分に生活習慣病のリスク保有状況がわかる。
- 放置するとどうなるか、どの生活

地域ぐるみで糖尿病の3次予防を実践！ 糖尿病透析予防が最優先課題

健康のための資源
(受診の機会、治療の機会)
の公平性の確保

- 重症化が予防できる
- 医療費の伸びを抑制できる

- 重症化が予防できる
- 死亡が回避できる

健康格差の縮小

高血圧の改善

脂質異常症の減少

糖尿病の有病者の増加の抑制

最終目標

脳血管疾患死亡率の減少

虚血性心疾患の減少

糖尿病腎症による新規透析導入患者数の減少

JMAP方式による慢性疾患の重症化予防

対象疾患	糖尿病性 腎臓病	フレイル サルコペニア	無症候性 冠動脈疾患	脳動脈 硬化症
阻止する病態	透析導入	転倒骨折	急性冠症候群	脳梗塞
トリアージ ツール	eGFR低下率	開眼片足立ち 時間	冠動脈プラーク CT値	開発中
治療障害 要因	塩分過剰 脱水	タンパク摂取 不足	ISTの不徹底	開発中
重症化予防 治療手段	GLP-1受容体 作動薬 SGLT2阻害剤	転倒予防運動 プログラム	抗PCSK9抗体 製剤	開発中
地域モデル 実践	アウトカムの 出た地域が 複数稼働中	地域実験中	地域実験中	

糖尿病腎症重症化予防をめざす医療政策の展開

2012年4月

『健康日本21(第2次)』第10章

糖尿病

【慢性腎臓病】

選択的SGLT2阻害剤(フォシーガ)

初の治療薬承認

2013年9月

JM

2015年2月

第

開発最終段階に複数品目、治療進展に期待

2016年4月

『糖尿病腎症

』策定

2018年4月

高血圧

【心不全】

選択的SGLT2阻害剤(フォシーガ)

点

2018年末

『糖尿病腎症

2020年4月

『糖尿病腎症

2021年末

S

三

認

2022年4月

C

薬剤部への承認推薦と上市指導の対応

これからの2年間で
糖尿病透析予防の地域展開
を実現する！

2月13日(日)午前の部 午前9時30分から12時30分

1. 9時30分～9時40分 代表理事からのメッセージ『重症化予防のパラダイムシフト』 代表理事 平井 愛山 10分

①透析予防は病院から地域への展開の時代へ！

2. 9時40分～11時30分 シンポジウム『重症化予防(1)透析予防は新たなステージへ:病院から地域への展開

基調講演『重症化予防政策の意義と糖尿病性腎症重症化予防のネクストステージ』 理事 松本 洋 30分

シンポジウム①腎保護薬の進歩と透析予防の向上 30分

1. 多用量GLP-1受容体作動薬の導入と透析予防の向上(1) 皆野病院 内科 後藤 敏夫 10分
2. 多用量GLP-1受容体作動薬の導入と透析予防の向上(2) 千葉県循環器病センター 看護局 赤坂 さゆり 10分
3. 多用量GLP-1受容体作動薬の導入と透析予防の向上(3) 大館市民病院 内科 阿部 高大 10分

シンポジウム②糖尿病透析予防の地域展開に向けて:病院から地域へ(専門医から非専門医への展開を目指して)

1. イントロ『病院から地域への展開の鍵は、病診連携と技術移転の定期的勉強会』 代表理事 平井 愛山 30分
2. 地域連携を基盤にした透析予防から地域への展開へ(1) 大館市立総合病院 内科 池島 進 5分
3. 地域連携を基盤にした透析予防から地域への展開へ(2) コスモス病院 内科 近藤 誠哉 5分
4. 地域連携を基盤にした透析予防から地域への展開へ(3) 入江病院 内科 瀧井 匡 5分
5. 地域連携を基盤にした透析予防から地域への展開へ(4) 市立大宮総合病院 内科 瀧井 匡 5分

3. 11時30分～12時30分 シンポジウム『重症化予防(2)フレイル・サルコペニアの重症化予防の新展開』

1. 低塩分高タンパク食品の活用でフレイル防止の実践 千葉県循環器病センター 栄養科 石橋 裕子 20分
2. 在宅療養者の嚥下性肺炎重症化予防の取り組みと成果 千葉県立佐原病院 看護局 塚本 文香 20分
3. InBodyを活用した地域住民のフレイル・サルコペニア対策 皆野町役場健康こども課 梅津 順子 20分

2月13日(日)午後の部 午後0時30分から午後3時45分

1. 0時30分～1時30分 ランチオンセミナー 経口GLP-1受容体作動薬の開発とその臨床活用 共催ノボ社

(株)ノボ ノルディスク ファーマサイエンティフィック スポークスパーソン 二宮 一敏

2. 1時30分～2時30分 ポスターセッション 5題(SGLT2阻害剤の腎保護効果:平井啓之、院内横展開:湯浅めぐみ、他)

3. 2時30分～3時45分 COVID-19の波を越えて

①2時30分～3時30分

特別講演『新型コロナは人類に何をもたらしたか?』

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(量研/QST)理事長 平野 俊夫 60分

②3時30分～3時45分

Closing Remarks『重症化予防は第二のステージへ』

代表理事 平井 愛山 15分

ポスターセッション

1. 自治医科大学さいたま医療センター 腎臓内科 平井 啓之
腎機能障害を合併したRA系阻害薬投与中の2型糖尿病患者における
SGLT2阻害薬の有効性の検討
2. 千葉県循環器病センター 看護局 湯浅 めぐみ
循環器疾患を抱える患者の透析予防の院内展開の取り組みとその成果
3. 千葉県立佐原病院 訪問看護ステーションさわら 林 和子
訪問看護を受けている在宅療養患者を対象とした介護重症化予防の研究
(第三報)–新型コロナワクチンの接種状況から見えてくる、重症化予防の新たな視点と解決策–
4. 皆野病院 看護部 山崎 玉枝、栄養科 新井 香織
フレイル・サルコペニア重症化予防を視野にいれた糖尿病透析予防の新たな取り組み
5. 千葉県循環器病センター 看護局 佐々木 章乃
糖尿病性腎症3期を合併している入院患者の1事例から見た糖尿病教育の
課題の抽出とその解決方法～糖尿病の重症化予防と内的阻害要因～